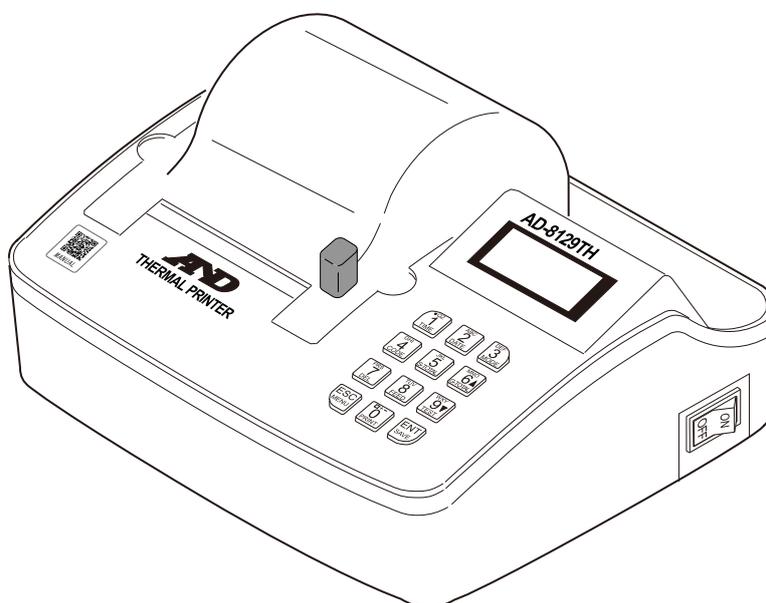


AD-8129TH

サーマルプリンタ

取扱説明書



AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

1WMPD4005387

注意事項の表記方法

注意 正しく使用するための注意点の記述です。

ご注意

- (1) この取扱説明書（以下、本書）の一部またはすべてを、株式会社エー・アンド・デイ（以下、弊社）の書面による事前の許可なく、転載・複製・改変・他言語への翻訳を行うことを禁止します。
- (2) 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- (3) 本書の内容にご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 弊社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益、および、本機の欠陥または本書の不備により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時に、ソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

目次

1. はじめに.....	4
1-1. 特長	4
2. 製品構成（各部の名称）、梱包内容.....	5
2-1. 各部の名称	6
3. 準備.....	7
3-1. AC アダプタの接続.....	7
3-2. プリンタカバーの開閉	8
3-3. プリンタ用紙の取り付け.....	9
3-4. テスト印字	10
3-5. 計量器との接続	10
4. 印字.....	11
4-1. 計量器からのデータ印字.....	11
4-2. 紙送り.....	11
4-3. 注意事項	11
5. キーの基本操作（基本動作）	12
6. 統計演算機能.....	13
6-1. 統計演算の印字例と印字内容	13
7. 基本設定.....	14
7-1. 時刻設定	14
7-2. 日付設定	14
7-3. 印字モード設定	15
7-4. ID コード設定.....	15
8. 内部設定.....	16
8-1. 内部設定の表示と操作キー	16
8-2. 項目一覧	17
8-3. 内部設定の初期化.....	20
8-4. 印字モードの解説.....	20
8-5. チャート印字モード.....	22
8-6. 外部入力コネクタの解説.....	23
9. パスワードロック機能.....	24
9-1. パスワードロック機能を有効にする.....	24
9-2. パスワード入力箇所.....	25
10. インタフェースの仕様.....	26
10-1. RS-232C.....	26
11. 保守.....	27
11-1. お手入れ	27
11-2. 動作確認	27
11-3. 故障かな？ と思ったら.....	27
11-4. お困りの時は.....	32
11-5. 修理依頼	35
12. 仕様.....	36
12-1. 外形寸法図	36
12-2. 別売品.....	37

1. はじめに

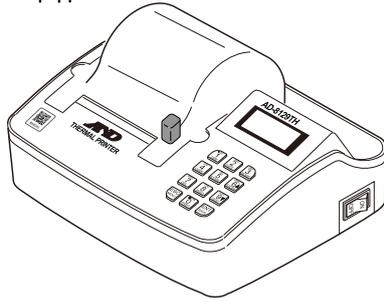
このたびは、エー・アンド・デイのサーマルプリンタ AD-8129TH をお買い求めいただきありがとうございます。
この取扱説明書は AD-8129TH を理解し、十分に活用していただくため、使用前によくお読みください。

1-1. 特長

- 本機は A&D 製の電子天びん、はかり、個数計、水分計、粘度計、計量インジケータ等の計量器と接続し、計量器から送信されたデータを印字するプリンタです。
- サーマル印字により、印字内容が鮮明で見やすく、印字濃度の変更も可能です。
- 小型・軽量のため、設置場所を選びません。また持ち運びも容易に行えます。
- データ入力は RS-232C またはカレントループとなり、電子天びん等の計量器との接続が容易に行えます。
- クリーンルーム内での印字用に、無塵紙（別売品：AX-PP183-S）を用意しています。
- 時計機能を内蔵しており、日付・時刻の印字が可能です。
- 一定時間間隔での印字（インターバル印字）が可能です。
- 計量データの標準偏差を含む統計演算結果を印字できます。
- 計量データの時系列変化をチャート式で印字できます。
- 液晶表示により、プリンタの状態確認や設定が容易に行えます。
- プリンタのキースイッチを押すことにより、表示をゼロにするリゼロコマンドや計量データの要求コマンドを計量器に送信することが可能なため、高感度な計量器に触れることなく計量データを印字することが可能です。

2. 製品構成（各部の名称）、梱包内容

本体

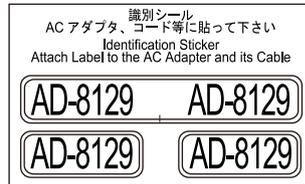
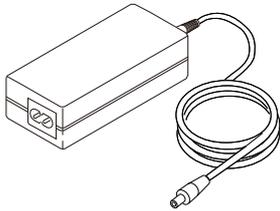


プリンタ用感熱紙（1巻）

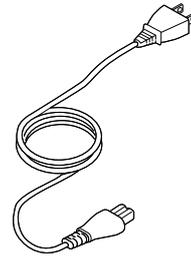
※ 本体に装着されています。



ACアダプタ（TB-305）、ACアダプタ識別シール
 ※ ACアダプタを間違えるとプリンタや計量器が正常に動作しない場合があります。

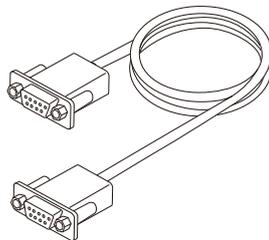


電源ケーブル
 AX-KO1885（約2m）



付属のACアダプタにACアダプタ識別シールを貼り付けてください。

RS-232C ケーブル D-sub 9ピン-9ピン（AX-KO2741-100）



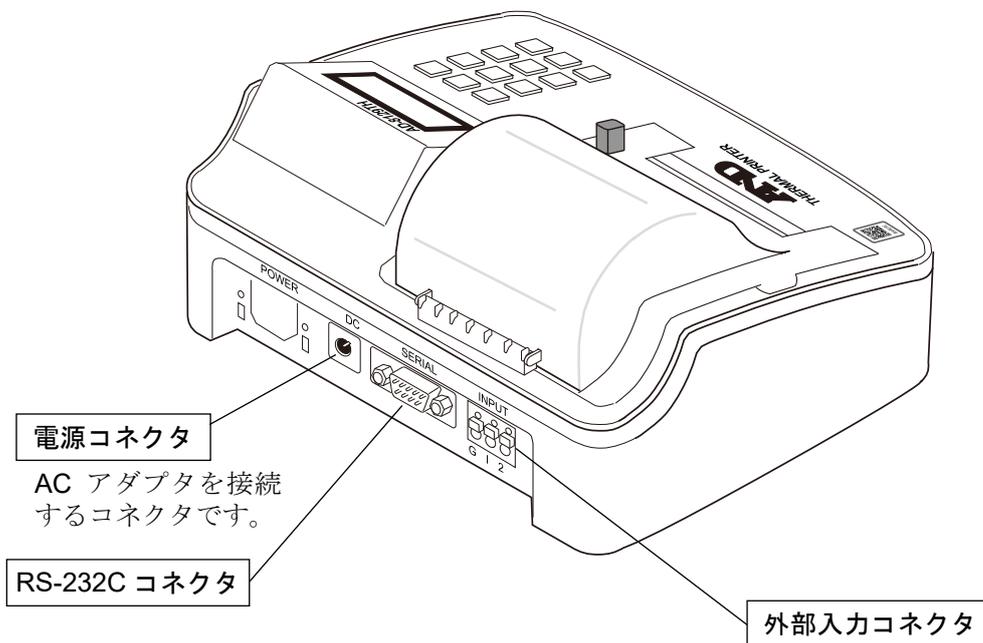
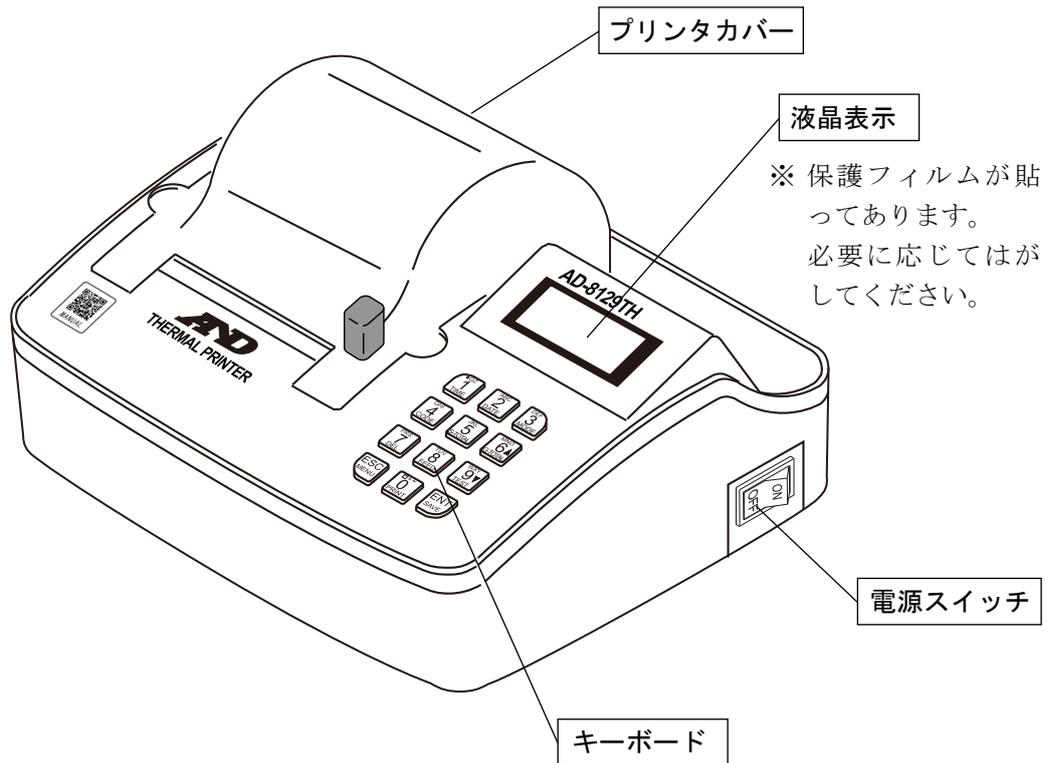
簡易取扱説明書



別売品

- プリンタ用感熱紙（5巻入り） AX-PP147-S
- プリンタ用感熱無塵紙（10巻入り） AX-PP183-S

2-1. 各部の名称



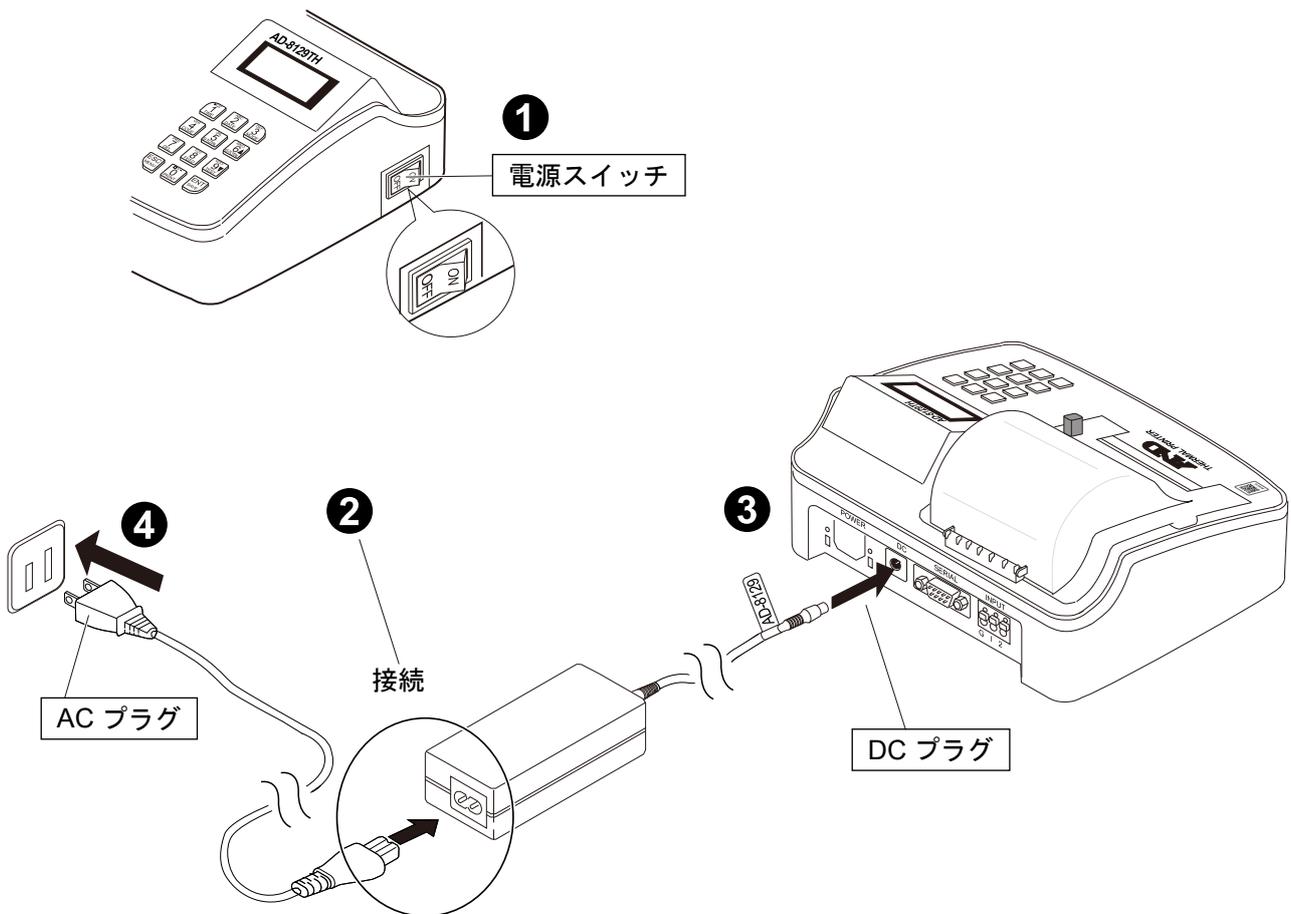
データ受信用 RS-232C コネクタ (9 ピン) です。
カレントループでも使用します。

3. 準備

3-1. ACアダプタの接続

手順

1. 電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
2. 電源ケーブルと AC アダプタを接続してください。
3. AC アダプタの DC プラグを本機の電源コネクタに接続してください。
4. 電源ケーブルの AC プラグをコンセントに差し込んでください。

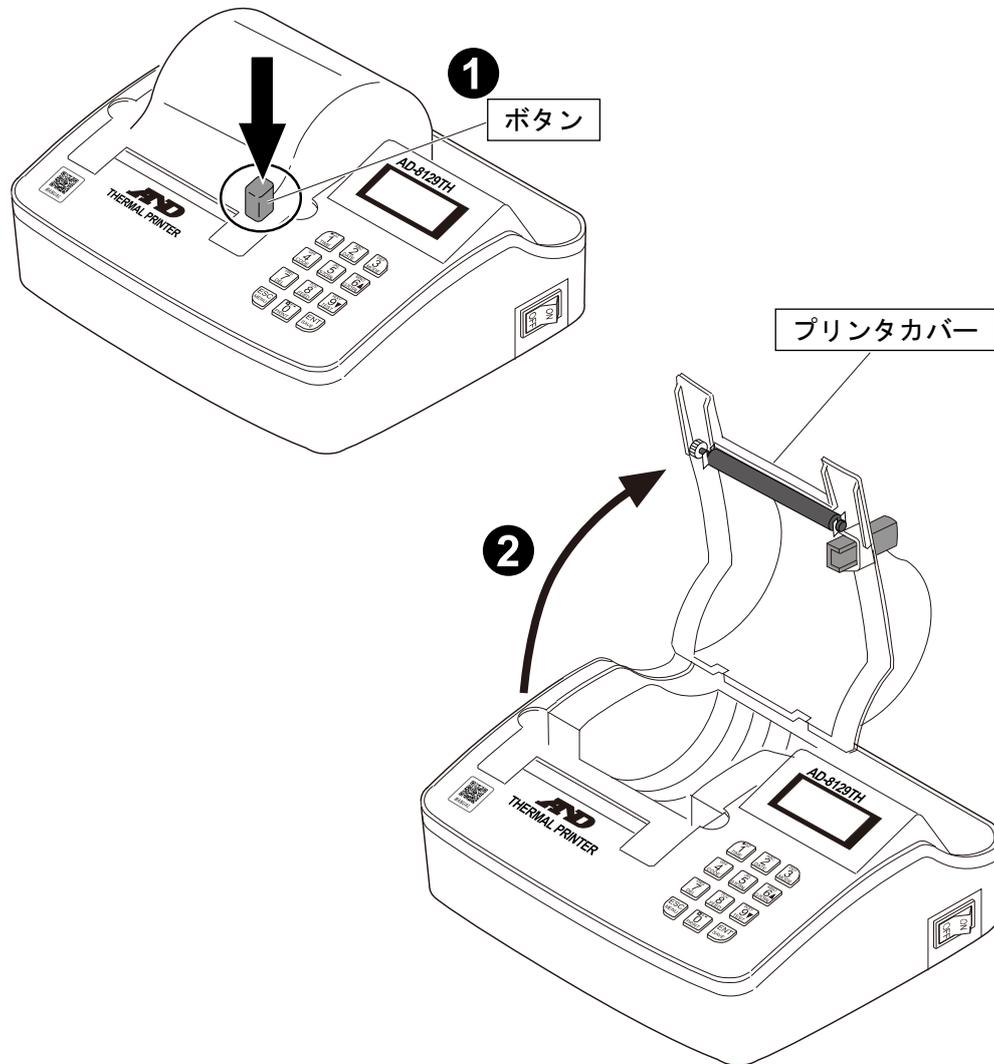


3-2. プリンタカバーの開閉

プリンタ用紙の着脱を行う際には、プリンタカバーを開けて操作を行います。

手順

1. プリンタカバー右サイドにあるボタンを押してください。
2. プリンタカバーを上方に持ち上げてください。

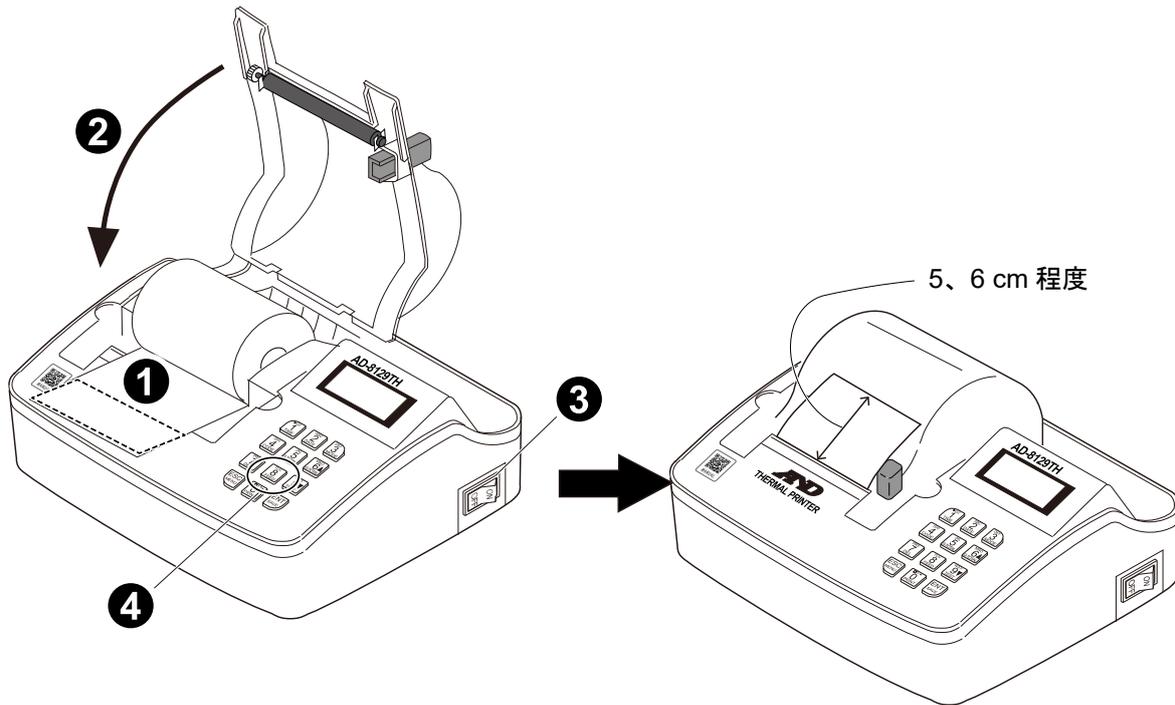


注意 開閉方法を間違えるとプリンタカバーが破損する恐れがあります。

3-3. プリンタ用紙の取り付け

手順

1. プリンタ用紙を、先端が印字ユニットからはみ出るように置いてください。
2. プリンタカバーをしめます。
3. 電源スイッチを ON にしてください。
4.  キーを押して印字用紙をフィードさせ、印字ユニットから 5、6 cm 外に出します。



- ※ 別売品：プリンタ用感熱紙（5巻入り） AX-PP147-S
別売品：プリンタ用感熱無塵紙（10巻入り） AX-PP183-S

3-4. テスト印字



キーを押しながら電源を ON にし、

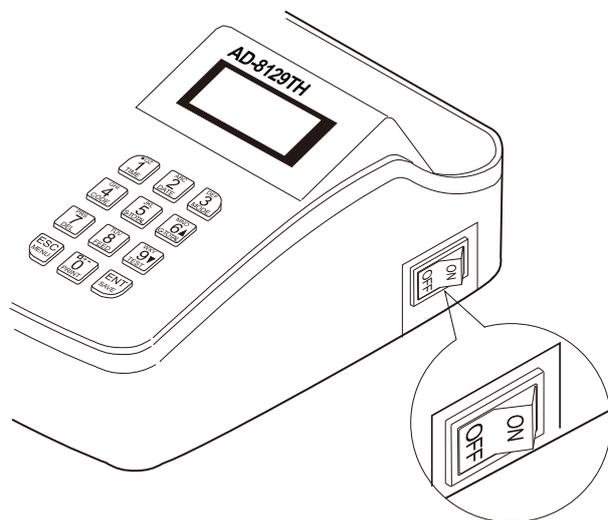


キーを長押し (約 4 秒間) すると、テスト印字が開始

されます。

テスト印字により、内部設定の状態が確認できます。

※ 印字を中止する場合は電源を OFF にしてください。



印字例

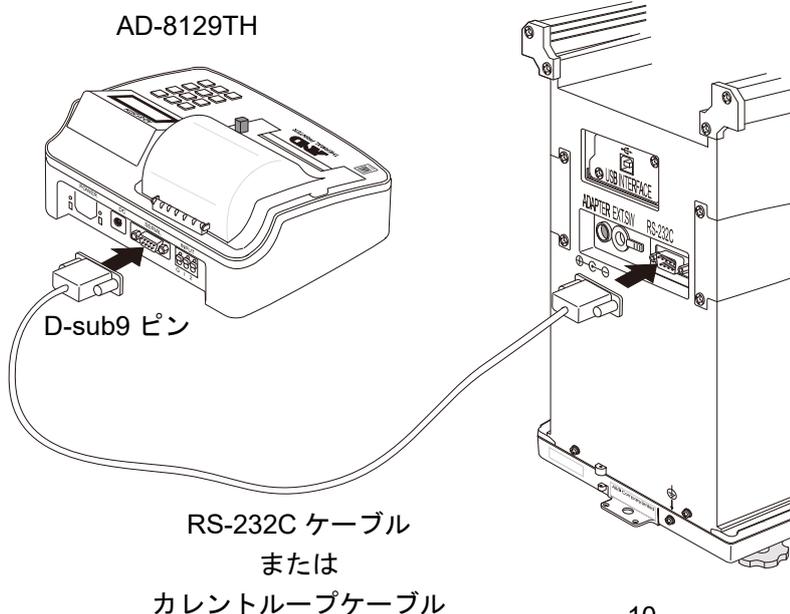
```
-----  
*[ PRINTER SETUP ]*  
VERSION :V1.05(2024/06/17)  
USER MODEL : AND  
PRINT MODE : EXT.KEY  
PRINT FORMAT : WEIGHT  
PRINT FORMAT2 : +/- PRINT  
US PRINT : NOT PRINT  
DATE FORMAT : Y/M/D  
LINE FEED : 1 LINE  
USER CODE : 00000001  
TOTAL MODE : TIME PRINT  
CODE PRINT : PRINT  
CODE DIRECTION: L <-- R  
NO.PRINT : PRINT  
BACK FEED : YES  
PRINT DENSITY : 70%  
INTERFACE : SERIAL(RS-232C)  
CURRENT LOOP  
PROTOCOL : 2400bps, E, 7, 1  
CURRENT TIME/DATE :  
2024/11/01 12:34:56  
-----
```

3-5. 計量器との接続

計量器等と接続する場合は、RS-232C ケーブルまたはカレントループケーブルを使用します。

出荷時の通信設定はボーレート:2400 bps、データ長:7 bit、パリティ:EVEN、ストップビット:1 ビットです。ほとんどの A&D 製計量器の出荷時設定に合わせています。

計量器背面



※ 計量器のコネクタが D-sub9 ピン以外の場合、別売品の RS-232C ケーブルが必要です。

※ 計量器のカレントループ出力と接続する場合、別売品のカレントループケーブルが必要です。

4. 印字

4-1. 計量器からのデータ印字

手順

1. 本機の電源を ON にしてください。
出荷時の印字モードは「外部キー印字モード (EXT. KEY)」です。
2. 計量器と RS-232C ケーブルまたは、カレントループケーブル (別売品) で接続してください。
3. 計量器からデータを出力します (計量器の **印字**・**PRINT** キーを押す等)。
計量器のデータ出力方法、出力フォーマット、RS-232C 通信設定は計量器の取扱説明書を参照してください。
4.  キーにより紙送りを行い、印字結果が見える状態にしてから紙をカットします。

※ 計量器の機種によっては、**PRINT** キーによる出力や、安定後自動出力といった機能があります。

4-2. 紙送り

手順

1.  キーを押してください。押している間紙送りし続けます。

4-3. 注意事項

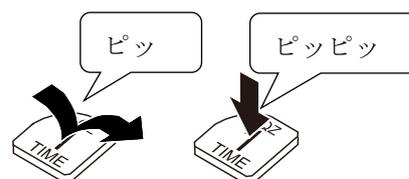
- 感熱紙の保存に関して
 - 乾燥した冷暗所に保存してください。
 - 固いもので強くこすらないでください。
 - 有機溶剤の近くに置かないでください。
 - 塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。
 - 複写直後のジアズおよび湿式コピーとは重ねないでください。
- 本体内部に異物を落とさないよう注意してください。故障の原因になります。
- 動作させるときには、安定した場所に設置してください。水平でなかったり、不安定なときは、印字時の振動と共に本機が移動することがあり危険です。
- 設置台の材質 (PVC 等) によってはゴムの成分が移る可能性があります。ビニール系の台またはシート上への設置は避けてください。
- 本体を清掃する場合は、有機溶剤 (アルコール、シンナー、ベンジン等) は使用しないでください。本体は樹脂製なので劣化する恐れがあります。

5. キーの基本操作（基本動作）

キーを押した際の動作は2種類あります。

1. キーを押してブザーが鳴ったらキーを離す
2. キーを押してブザーが2回鳴るまで長押し（約2秒間）する

※ キーの誤動作を避けるために、キーを押してからブザーが鳴るまで多少時間があります。



キー	キーを押した場合 (ブザーが1回鳴るまで)	キーを長押し（約2秒間）した場合 (ブザーが2回鳴るまで)
	現在の時刻を印字します。	時刻設定モードに入ります。
	現在の日付を印字します。	日付設定モードに入ります。
	印字モード設定に入ります。	
	ID コードを印字します。	ID コード設定モードに入ります。
	合計 (TOTAL) を印字します。	
	統計演算結果を印字します。	
	統計演算に使用するデータを1件削除します。	統計演算に使用するデータを一括削除します。
	1行紙送りを行います。	キーを押している間、紙送りを行います。
	電源オフ時に押しながら電源 ON することでテスト印字を行います。	
	各設定の変更をキャンセルします。 内部設定時には設定項目を次項目にします。	リゼロコマンドを送信します。※ コマンドは内部設定で選択できます。
	マニュアル印字モードでは計量値を印字します。外部キー印字モードとダンプ印字モードでは計量値要求コマンド (“Q” コマンド) を計量器に送信し、受信した計量値を印字します。※	
	各設定変更を確定します。 チャート印字中ではチャート印字を中断、再開します。	外部キー印字モードとダンプ印字モードを切り替えます。 チャート印字中ではチャート印字を終了します。

※ カレントループで接続している場合は、コマンドの送信はできません。

6. 統計演算機能

本機は計量値を印字するだけでなく、印字した計量値の統計演算を行います。演算処理は随時行われているため、ワンタッチでいつでも演算結果を印字できます。

6-1. 統計演算の印字例と印字内容

- 計量値を印字すると計量ナンバが印字されます。
単位やデータの種類が最初に入力されたデータと異なる場合は、印字はされますが、演算の対象から除かれます。
- 誤って計量値を印字した場合は、 キーを押してください。
“****< *** DELETE >****” と印字され直前のデータが演算対象から除かれます。
- 合計の演算結果を印字する場合は、 キーを押してください。
日付・時刻、ID コード、データ数(N)、合計(TOTAL)が印字されます。
統計演算で使用するデータを一括削除する場合は、 キーを長押し (約 2 秒間) します。
- 全ての演算結果を印字する場合は、 キーを押してください。
日付・時刻、ID コード、データ数(N)、合計(TOTAL)、
平均値(AVE)、最大値(MAX)、最小値(MIN)、最大値-最小値(R)、
標準偏差(STDEV)、変動係数(CV)、最小計量値(MINI WT)の値が
印字されます。
$$\text{変動係数(CV)} = \frac{\text{標準偏差(STDEV)}}{\text{平均値(AVE)}} \times 100(\%)$$

最小計量値(MINI WT) = 標準偏差(STDEV) × 2000
※ 最小計量値の計算は USP (米国薬局方) Chapter 41
に準拠しています。対象は分銅の計量時となります。
※ 演算対象のデータ数(N)は最大 999 個です。
- 全ての演算結果を印字後、統計演算に使用するデータの一括削除が行えます。( キーを長押し (約 2 秒間) した場合も同じ動作となります。)



キー：データを一括削除



キー：データは削除しない

LCD 表示

CLEAR
DATA? E

印字例

ID CODE	:	LAB-1234	
NO.	1 WT	1000.12	g
NO.	2 WT	1000.20	g
NO.	3 WT	1000.16	g
NO.	4 WT	1000.21	g
****< 004 DELETE >****			
NO.	4 WT	1000.25	g
NO.	5 WT	1000.13	g

****< SUB TOTAL >****			
2024/11/01		15:31:50	
ID CODE		LAB-1234	
N		5	
TOTAL		5000.86	g

****< GRAND TOTAL >****			
2024/11/01		15:32:07	
ID CODE		LAB-1234	
N		5	
TOTAL		5000.86	g
AVE (x̄)		1000.17	g
MAX		1000.25	g
MIN		1000.12	g
RANGE (R)		0.13	g
STDEV (σ)		0.054	g
CV		0.01	%
MINI WT		108.00	g

7. 基本設定

基本設定では、時計や印字モードなど最低限必要な設定は、簡単なキー操作で行えます。設定値は内部バッテリーでバックアップされているため、電源 OFF または AC アダプタを抜いても記憶しています。

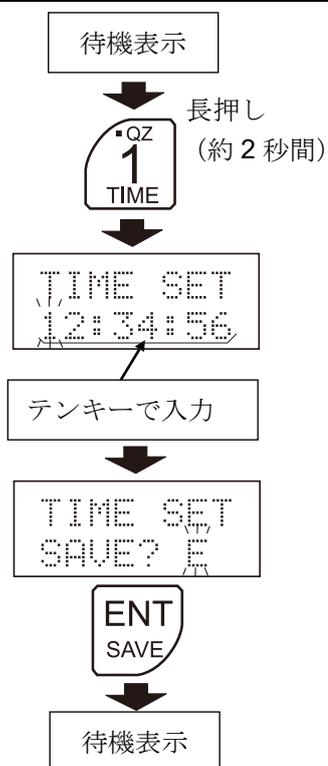
注意 電源 ON 時に「ピー、ピッ、ピッ、ピッ」と警告鳴が鳴った場合は、内部リチウムバッテリーの異常により、日付・時刻の設定、印字が正しく行えません。この場合は、修理を依頼してください。

7-1. 時刻設定

1.  キーを長押ししてください。
2. テンキーにて時・分・秒を入力してください。
3. 全て入力すると  と表示されます。
4. 決定する場合は  キーを押してください。

取り消す場合は  キーを押してください。

※ 存在しない時刻は設定しないでください。



7-2. 日付設定

1.  キーを長押ししてください。
2. テンキーにて年・月・日を入力してください。
3. 全て入力すると  表示されます。
4. 決定する場合は  キーを押してください。

取り消す場合は  キーを押してください。

※ 存在しない日付は設定しないでください。

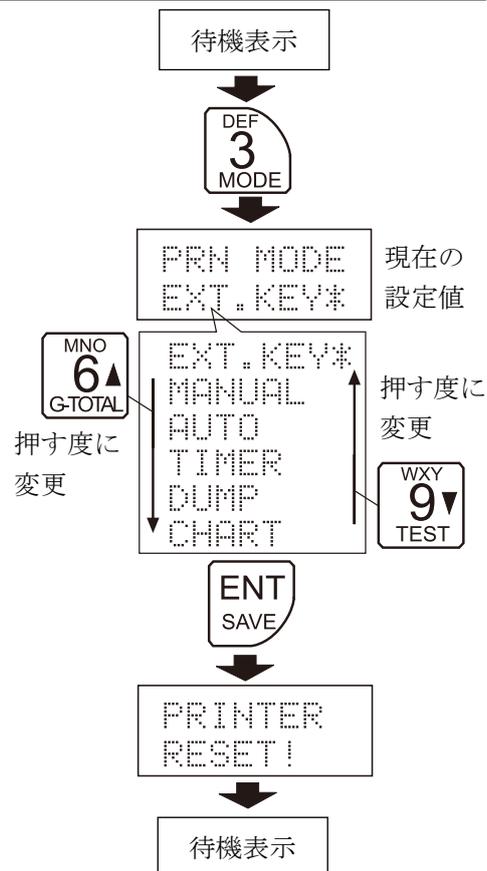
※ 年・月・日の順序を変更する場合は、「8-2. 項目一覧」の「機能設定 (3=MODE)」の「日付フォーム (DATE FOR)」を設定してください。



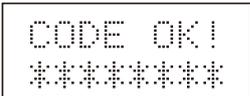
7-3. 印字モード設定

1.  キーを押してください。
 2.  キーまたは  キーを押して表示を切り替えます。
 3.  キーを押して確定します。
- 設定を取り消す場合は、 キーを押してください。

※ 各設定の解説は、「8-4. 印字モードの解説」を参照してください。

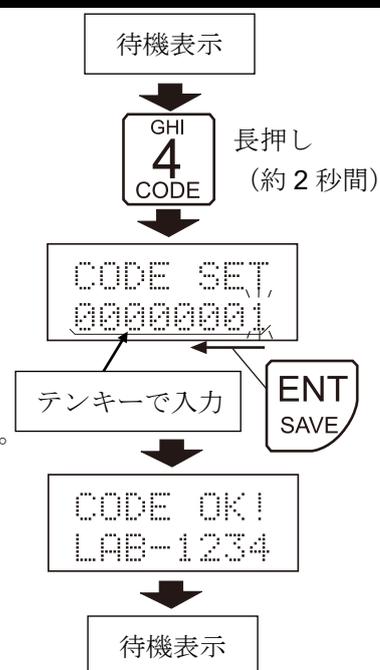


7-4. IDコード設定

1.  キーを長押し（約2秒間）してください。
2. テンキーにてIDコードを入力してください。
3. 桁を移動する場合は  キーを押してください。
4. 全て入力すると  表示されて待機状態に戻ります。

※  キーを押して取り消しても  キーを押した桁までは変更されています。

※ IDコードの設定方向は内部設定で変更できます。

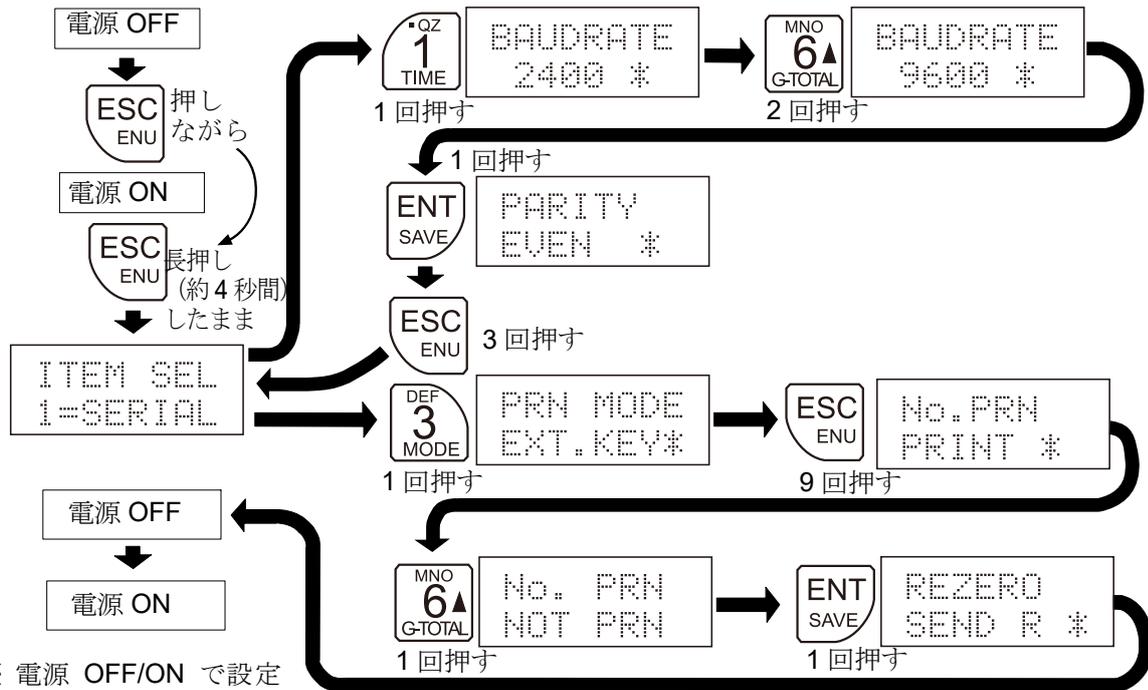


8. 内部設定

内部設定では、プリンタの通信・機能の変更ができます。設定値は電源 OFF または AC アダプタを抜いても記憶されます。

内部設定のメニュー構造は、下図のように分類項目と設定項目の 2 層からなり、各設定項目には 1 つの設定値が登録されています。各項目で有効となる設定値は、選択後に **ENT SAVE** キーを押した設定値となります。更新した設定値がプリンタの動作に反映されるのは、電源を OFF/ON した後となります。

設定例とメニュー構造



※ 電源 OFF/ON で設定が反映されます。

8-1. 内部設定の表示と操作キー

表示と操作キー	解説				
*	「*」マークは現在有効となっている設定値に表示されます。				
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">QZ 1 TIME</td> <td style="text-align: center;">ABC 2 DATE</td> <td style="text-align: center;">DEF 3 MODE</td> <td style="text-align: center;">GHI 4 CODE</td> </tr> </table>	QZ 1 TIME	ABC 2 DATE	DEF 3 MODE	GHI 4 CODE	ITEM SEL 表示中に各分類項目に入ります。
QZ 1 TIME	ABC 2 DATE	DEF 3 MODE	GHI 4 CODE		
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">MNO 6▲ G-TOTAL</td> <td style="text-align: center;">VWX 9▼ TEST</td> </tr> </table>	MNO 6▲ G-TOTAL	VWX 9▼ TEST	設定値を変更します。		
MNO 6▲ G-TOTAL	VWX 9▼ TEST				
ENT SAVE	現在の設定項目に変更して、次の設定項目に進みます。				
ESC ENU	現在の設定項目は変更せず、次の設定項目に進みます。				

8-2. 項目一覧

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途	
1=SERIAL シリアルインタ フェース ※1	BAUDRATE ボーレート	1200	1200 bps	
		■ 2400	2400 bps	
		4800	4800 bps	
		9600	9600 bps	
		19200	19200 bps	
	PARITY パリティ	NONE	なし	
		ODD	奇数	
		■ EVEN	偶数	
	WORD LEN データ長	8BIT	8 bit	
		■ 7BIT	7 bit	
STOP BIT ストップビット	■ 1STOP	1 bit		
	2STOP	2 bit		
2=VENDER データフォーマット ※2		■ AND	A&D 標準フォーマット	※3
		：	以降他社フォーマット	
3=MODE 機能設定	PRN MODE 印字モード	■ EXT.KEY	外部キー印字モード	
		MANUAL	マニュアル印字モード	※4
		AUTO	オート印字モード	※4
		TIMER	インターバル印字モード	※4
		DUMP	ダンプ印字モード	
		CHART	チャート印字モード	※4
	PRN FOR. 印字データ	■ WEIGHT	計量値のみ	
		TIME/WG	日付時刻 + 計量値	
		TML/WG	日付時刻 + 計量値	日付時刻は初回のみ印字する
	PRN FOR2 印字データ 2	+ PRN	計量値が“+”のとき印字	
		■ +/- PRN	計量値が“+”、“-”どちらでも印字	
	US PRN 非安定データ	■ NOT PRN	印字しない	
		PRINT	印字する	
	DATE FOR 日付フォーム	■ Y/M/D	yyyy/mm/dd	
		M/D/Y	mm/dd/yyyy	
D/M/Y		dd/mm/yyyy		

■ は出荷時設定です。

- ※1 シリアルインタフェースの初期設定値は A&D 製の計量器の初期設定に合わせてあります。
- ※2 計量器の出力フォーマットも A&D 標準フォーマットに設定してください。
- ※3 A&D 標準フォーマット以外の他社フォーマットは動作を保証するものではありません。
- ※4 計量器の出力モードはストリーム出力する必要があります。

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途	
3=MODE 機能設定	FEED CNT フィード	■ 1 LINE	印字後 1 行紙送り	
		2 LINE	印字後 2 行紙送り	
		3 LINE	印字後 3 行紙送り	
		4 LINE	印字後 4 行紙送り	
		5 LINE	印字後 5 行紙送り	
		6 LINE	印字後 6 行紙送り	
		7 LINE	印字後 7 行紙送り	
		8 LINE	印字後 8 行紙送り	
	TOTAL MD 演算印字	■ T/D YES	演算印字に日付時刻あり	
		T/D NO	演算印字に日付時刻なし	
	CODE PRN ID 印字	NOT PRN	印字しない	No.1 データの印字 時と統計演算印字 時
		■ PRINT	印字する	
	CODE DIR ID 設定方向	■ L ←→ R	右から左	
		L →→ R	左から右	
	NO. PRN 計量ナンバ印字	NOT PRN	印字しない	統計演算に適用さ れるナンバ
		■ PRINT	印字する	
REZERO リゼロコマンド ※5	■ SEND R	R コマンド		
	SEND Z	Z コマンド		

■ は出荷時設定です。

※5 接続する計量器の仕様に合わせてコマンドを設定してください。

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途	
3=MODE 機能設定	EXT IN1 外部入力 1	■ NONE	機能なし	
		PRINT	印字	印字モード “MANUAL”
		FEED	紙送り	※6
		G TOTAL	演算結果印字	
		S TOTAL	総和印字	
		R/Z CMD	リゼロコマンド	
		Q CMD	計量値要求コマンド	
	EXT IN2 外部入力 2	■ NONE	機能なし	
		PRINT	印字	印字モード “MANUAL”
		FEED	紙送り	※6
		G TOTAL	演算結果印字	
		S TOTAL	総和印字	
		R/Z CMD	リゼロコマンド	
Q CMD		計量値要求コマンド		
BACK FD バックフィード ※7	■ YES	バックフィードあり		
	NO	バックフィードなし		
DENSITY 印字濃度	50%~100%	印字濃度の入力	出荷時設定：70%	
4=INITAL 初期化	PRN F/A 初期化	—	プリンタの内部設定を 工場出荷時の状態にし ます。	
5=PW パスワードロック機能	LOCK パスワードロック機能	■ NOT USE	パスワード機能なし	パスワード機能あ りの場合、日付・時 刻・内部設定の変更 時にパスワード入 力が要求されます。
		USE	パスワード機能あり	

■ は出荷時設定です。

※6 外部入力スイッチを一度押すと紙送りを開始し、もう一度押すと停止します。

※7 一度プリンタ内に紙を取り込んで印字を行い、印字が見やすい位置まで紙送りをする機能です。

8-3. 内部設定の初期化

プリンタの内部設定値を工場出荷時の状態に戻す場合は、「8-2. 項目一覧」の「初期化 (4=INITIAL)」を実行してください。



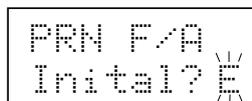
キー：内部設定を工場出荷時の状態にします。



キー：項目キャンセル

(内部設定は初期化されません。)

LCD 表示



8-4. 印字モードの解説

「8-2. 項目一覧」の「印字モード (PRN MODE)」によって、印字する方法が異なります。

外部キー印字モード (EXT. KEY)

プリンタのキーは使用せず、計量器のキーによって印字します。

計量器のデータ出力設定はキーによる出力としてください。



キーを押して計量器側に計量値要求コマンド (“Q” コマンド) を送信することで印字することも可能です。

ただし、カレントループで接続している場合は、コマンドの送信はできません。

マニュアル印字モード (MANUAL)



キーを押すことで印字します。

計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。

オート印字モード (AUTO)

計量器からの送られてくるデータがゼロの状態から+10 d 以上の変化があり、安定したときに自動で印字します。1 d = 計量器の最小表示となります。

計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。

インターバル印字モード (TIMER)

設定した時間ごとに印字します。インターバル時間の設定は、印字モードで“TIMER”を確定した後に分・秒 (mm:ss) で設定します。



キーで印字を中断し、



キーで印字を再開します。

計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。

ダンプ印字モード (DUMP)

計量器から送られてきたデータをそのまま印字します。計量器の GLP 出力などに使用します。
計量器のデータ出力設定はキーによる出力としてください。



キーを押して計量器側に計量値要求コマンド (“Q” コマンド) を送信することで印字することも可能です。

ただし、カレントループで接続している場合は、コマンドの送信はできません。

DUMP 印字モードで印字可能な文字コードテーブル (ASCII)

	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	'	p
1			!	1	A	Q	a	q
2			”	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s
4			\$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v
7			'	7	G	W	g	w
8			(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A			*	:	J	Z	j	z
B			+	;	K	[k	{
C			,	<	L	\	l	
D			-	=	M]	m	}
E			.	>	N	^	n	~
F			/	?	0	_	o	

印字可能な ASCII コード： 20h~7Eh

空白は印字未対応

SP はスペース

チャート印字モード (CHART)

計量値の変化量を散布図として印字します。計量値の経時変化を視覚的に確認できます。

チャートモードの設定は、印字モードで“CHART”を確定した後に、チャート印字する桁 (2 桁) の設定と、インターバル時間の分・秒 (mm:ss) の設定、印字回数設定を行います。

計量器のデータ出力設定はストリーム出力 (常時出力) としてください。

「8-5. チャート印字モード」を参照してください。

8-5. チャート印字モード

1. 印字モードを"CHART"にして  キーを押して確定します。

2. 電源を OFF/ON します。

3. チャート化する対象桁を 、 キーで選択し、

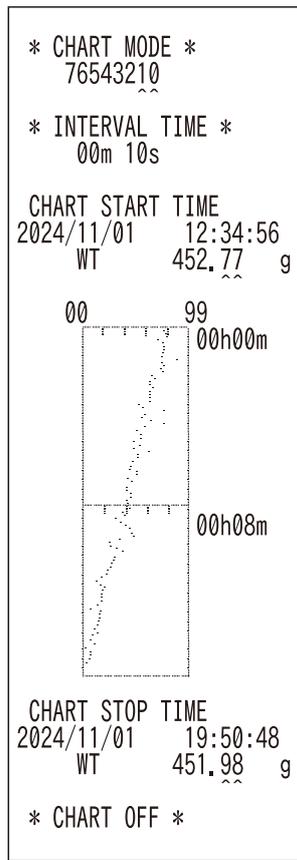
 キーで確定します。

4. インターバル時間をテンキーで入力して、 キーで確定します。

5. チャート印字回数をテンキーで入力して、 キーで確定します。

チャート印字が開始されます。

チャート印字例



6.  キーを長押しするか、チャート印字回数で設定した回数の印字が終了するとチャート印字が終了します。

また、 キーを押すとチャート印字を一時中断し、 キーで再開します。

7. チャート印字終了後、 キーを押すと「3.」から繰り返せます。

※1 インターバル時間の設定範囲は、00:05 (5秒) ~ 59:59 (59分59秒) です。

※2 チャート印字回数の設定範囲は、010 (10回) ~ 990 (990回) です。

PRN MODE
CHART



電源 OFF/ON

TARGET
76543210







TIME SET ※1
M: 500:00

テンキーで入力

DATE SET
SAVE? E



WT COUNT ※2
990 E

テンキーで入力



CHART
READY

印字開始

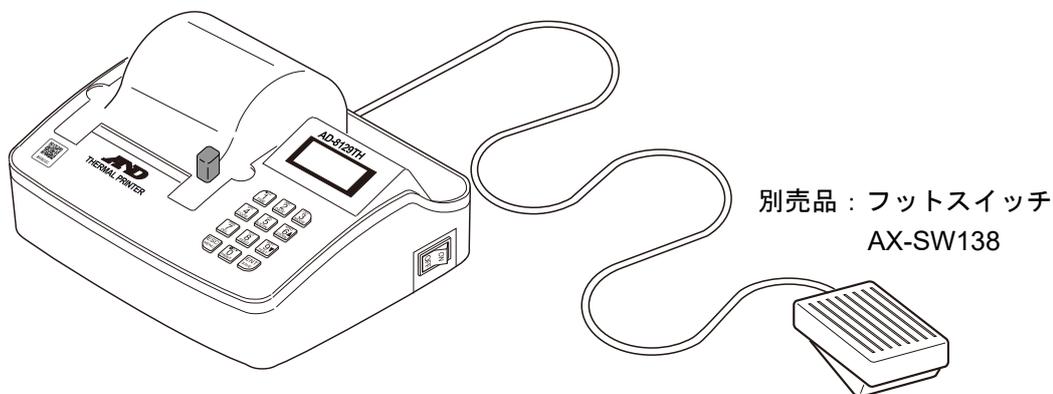
NT=12:34 ←次回印字時
NC=005 ←印字回数

CHART
END!

8-6. 外部入力コネクタの解説

外部入力コネクタを使用することで、プリンタから離れた場所で印字や紙送り、計量器のリゼロといった操作を行えます。外部入力は 2 系統あり、それぞれの操作は、「8-2. 項目一覧」の「機能設定 (3=MODE)」の「外部入力 1 (EXT IN1)」と「外部入力 2 (EXT IN2)」で設定できます。

組み合わせ例

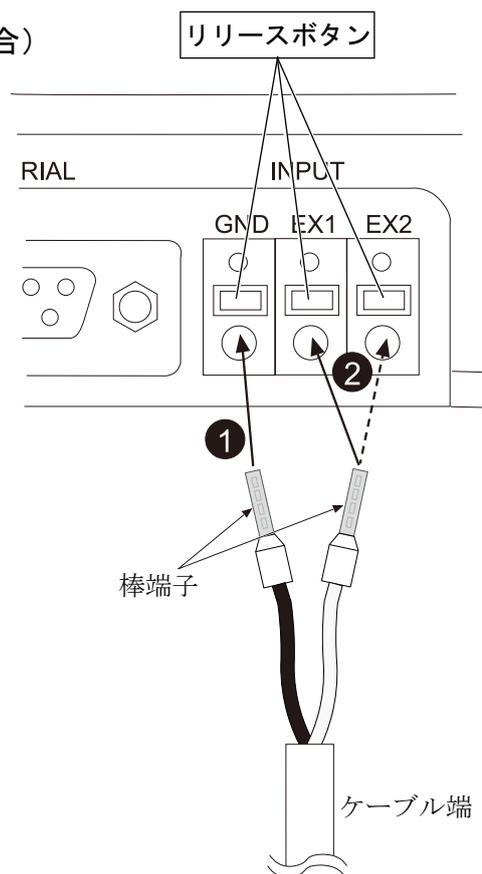


外部入力コネクタの使用方法（フットスイッチの場合）

1. 片方の棒端子を外部入力コネクタの「GND」に差し込みます。※1, ※2
2. もう一方の棒端子を外部入力コネクタの「EX1」、または「EX2」に差し込みます。※2
3. 棒端子を外部入力コネクタから外す場合は、リリースボタンを押しながら棒端子を引き抜いてください。※2

※1 差し込むだけではうまく固定されない場合は、リリースボタンを押しながら棒端子を差し込んでください。

※2 リリースボタンが押し難い場合は、ドライバ等で押ししてください。



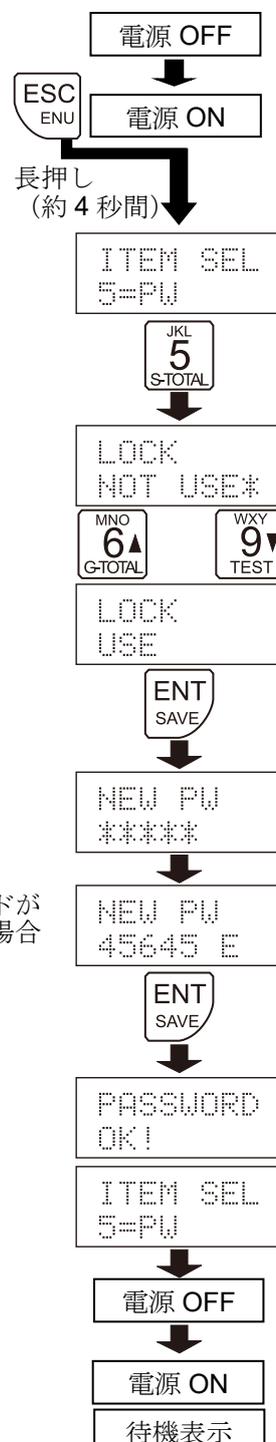
9. パスワードロック機能

パスワードを設定することにより、パスワードを知っている管理者のみ、日時・時刻・内部設定の設定変更ができる機能です。ID ナンバはパスワードロック機能の使用中でも、使用者が変更可能です。

9-1. パスワードロック機能を有効にする

パスワードの設定

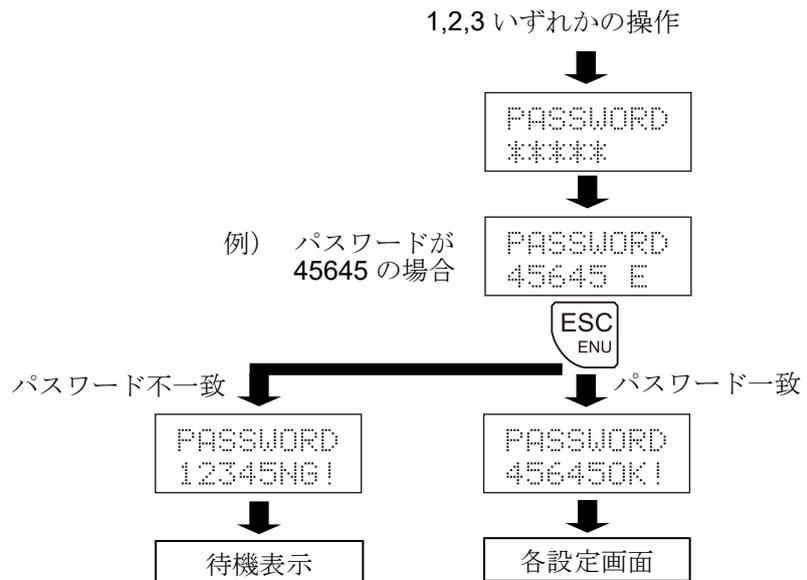
- 電源 OFF の状態から、 キーを押しながら電源を ON にし、さらに  キーを長押し（約 4 秒間）してください。
- 内部設定  の表示になります。 キーを押すと、 または  が表示されますので、 または  キーで  を選択し、 キーを押します。
-  が表示されます。
数字キーで 5 桁のパスワードを設定してください。
(出荷時は 00000 のパスワードが設定されています。)
(操作途中で  キーを押すと、設定を中止できます。)
- 数字キーで 5 桁のパスワードを設定し終わると、“E” が表示されますので  キーを押して、パスワードの設定を確定してください。
例) パスワードが 45645 の場合
-  の表示後、内部設定表示に変わります。
- 一度電源を OFF して、電源を入れ直してください。
待機表示に戻り、印字のスタンバイ状態になります。



9-2. パスワード入力箇所

パスワードを“使用する” **USE *** に設定されている場合は、次の設定操作でパスワードの入力が必要になります。

1. 内部設定に入るとき： 電源 OFF 状態から、**ESC** **ENU** キーを押しながら電源を ON にします。
2. 時刻設定に入るとき： 待機表示から、**1** **TIME** キーを長押し（約 2 秒間）します。
3. 日付設定に入るとき： 待機表示から **2** **DATE** キーを長押し（約 2 秒間）します。



10. インタフェースの仕様

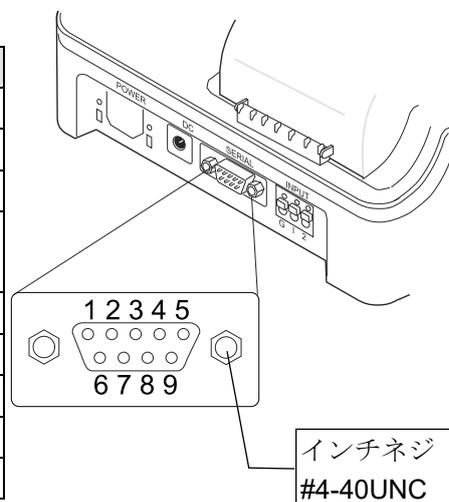
10-1. RS-232C

本機は DTE です。計量器 (DCE) とはストレートケーブルで接続します。

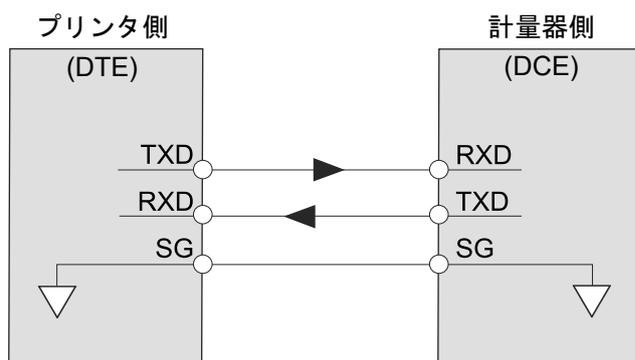
伝送方式 : EIA RS-232C
 伝送形式 : 非同期方式
 信号形式 : ボーレート 1200、2400*、4800、9600、19200 bps
 ターミネータ <CR><LF>
 データビット 7 ビット*または 8 ビット
 パリティ EVEN*、ODD (データ長 7 ビット)
 NONE (データ長 8 ビット)
 ストップビット 1 ビット以上
 *は出荷時設定 (ほとんどの A&D 製計量器の出荷時設定に合わせています。)

D-sub9 ピン配置

ピン No.	信号名	方向	意味
1	RXD	—	カレントループ受信データ
2	RXD	入	受信データ
3	TXD	出	送信データ
4	内部で使用	出	接続しないでください (5V 出力)
5	SG	出	シグナルグラウンド
6	—	—	N.C.
7	—	—	N.C.
8	—	—	N.C.
9	—	—	N.C.



RS-232C 接続



11. 保守

11-1. お手入れ

- 本体表面が汚れたときは中性洗剤を少ししみこませた柔らかい布で拭き取ってください。
- 有機溶剤や化学ぞうきんは使わないでください。
- 本機は分解しないでください。
- 輸送の際は専用の梱包材をご使用ください。

11-2. 動作確認

修理を依頼される前に以下の項目をチェックし、それでも異常がある場合は修理を依頼してください。

電源のチェック

- 専用 AC アダプタ (AX-TB305) は接続されていますか？

通信のチェック

- 本機と計量器は、RS-232C ストレートケーブル、またはカレントループケーブル (別売品) で接続されていますか？
- 本機と計量器の RS-232C 設定 (ボーレート、データ長、パリティ) は合致していますか？

プリンタ用紙のチェック

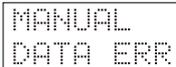
- プリンタ用紙は感熱紙を使用していますか？
※ AD-8127 マルチプリンタ用の普通紙は使用できません。

別売品

- プリンタ用感熱紙 : AX-PP147-S
- プリンタ用感熱無塵紙 : AX-PP183-S

11-3. 故障かな？ と思ったら

No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-1	計量値が印字できない 印字が点々となる	プリンタに正しい AC アダプタが接続されていない可能性があります。 AC アダプタの型式を確認してください。 適合 AC アダプタ : TB-305 <参照> 本書「2. 製品構成 (各部の名称)、梱包内容」の「2-1. 各部の名称」
11-3-2	プリンタ用紙に何も印字されない	付属の感熱紙以外を使用している場合、プリンタ用紙が感熱紙でない可能性があります。プリンタ用紙の型番を確認してください。 型番 : プリンタ用感熱紙 AX-PP147-S プリンタ用無塵感熱紙 AX-PP183-S

No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-3	プリンタ表示 	<p>プリンタが“マニュアル印字モード” [3=MODE PRN MODE / MANUAL] に設定されている状態で、計量値を受信できません。 ※ “マニュアル印字モード” は、計量器からプリンタに連続で計量値を送り、プリンタの  キーを押したタイミングで、計量値を印字する方法です。</p> <p>1. 計量器のキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <p>2. プリンタのキー操作で計量値を印字したい場合 以下、いずれかの方法があります。</p> <p>2-1 プリンタから計量器に、計量値要求コマンドを送信する方法 ※ “Q” コマンドにより計量値を出力できる計量器に限ります。</p> <p>1) 計量器の設定 ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット”</p> <p>2) プリンタの設定 ・印字モード：“外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3) 計量値の印字 ・プリンタの  キーを押すと、プリンタは計量器に計量値要求コマンド(“Q” コマンド)を送信、プリンタは計量値を受信し、印字します。</p> <p>2-2 計量器からプリンタに連続で計量値を送信し、プリンタの  キーを押したタイミングで、計量値を印字する方法</p> <p>1) 計量器の設定 ・データ出力モード：“ストリームモード”(計量値を連続出力) ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット”</p> <p>2) プリンタの設定 ・印字モード：“マニュアル印字モード” [3=MODE PRN MODE / MANUAL] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3) 計量値の印字 ・プリンタの  キーを押すと、最新の計量値を印字します。</p> <p>※ 表示オフリゼロ中など、計量器からの計量値出力が停止した場合は、プリンタに左記エラーが表示されます。</p>
11-3-4	プリンタ表示 	<p>プリンタ用紙が入っていない、またはプリンタカバーが開いています。 「プリンタ用紙の取り付け」を参照して、正しく取り付けてください。</p>

No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-5	計量値が印字できない プリンタ表示 	<p>プリンタが“オート印字モード” [3=MODE PRN MODE / AUTO]に設定されている状態で、計量データを受信できません。 ※ プリンタの“オート印字モード”は、計量器からプリンタに連続で計量値を送り、プリンタが計量値の変化を検出した時に、自動で計量値の印字を行う方法です。</p> <hr/> <p>1. 計量器のキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <hr/> <p>2. 計量値の変化により自動で計量値を印字したい場合 以下、いずれかの方法があります。</p> <p>2-1 計量器の“オートプリント機能”を利用する方法 多くの計量器は、計量値が変化・安定後、計量値を自動で出力する機能（オートプリント機能）を搭載しています。この機能でプリンタに計量値を自動で印字できます。</p> <p>1)計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力モード: “オートプリント” ・データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット” <p>2)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード: “外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3)計量値の印字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計量器の取扱説明書に従い、測定物の載せ（または降ろし）により計量値をプリンタに出力すると、プリンタは計量値を印字します。 <p>2-2 プリンタの“オート印字モード”を利用する方法</p> <p>1)計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力モード: “ストリームモード”（計量値を連続出力） ・データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット” <p>2)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード: “オート印字モード” [3=MODE PRN MODE / AUTO] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3)計量値の印字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計量値がゼロから 10 d 以上変化して安定すると、計量値を印字します。

No.	現象		推測される原因、対応方法
11-3-6		プリンタ表示 	<p>プリンタが“チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART] に設定されており、チャート化する対象桁を選択する状態です。</p> <p>1. 計量器のキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <p>2. チャート印字 (計量値の経時変化を散布図として印字) したい場合</p> <p>1) 計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> データ出力モード: “ストリームモード” (計量値を連続出力) データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット” <p>2) プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 印字モード: “チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> チャート印字設定は、「8. 内部設定」の「8-5. チャート印字モード」に従い、設定を行ってください。
11-3-7	計量値が印字できない	プリンタ表示 	<p>プリンタが“インターバル印字モード” [3=MODE PRN MODE / TIMER], または“チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART] に設定されており、インターバル時間の設定状態です。</p> <p>1. 計量器のキー操作で計量値を印字したい場合 プリンタの設定を初期化してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <p>2. “インターバル印字”、または“チャート印字”したい場合</p> <p>1) 計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> データ出力モード: “ストリームモード” (計量値を連続出力) データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット” <p>2) プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 印字モード: “インターバル印字モード” [3=MODE PRN MODE / TIMER], または“チャート印字モード” [3=MODE PRN MODE / CHART] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しい設定手順は「8. 内部設定」の「8-4. 印字モードの解説」・「8-5. チャート印字モード」を参照してください。

No.	現象	推測される原因、対応方法
11-3-8	風袋引きを行うと印字できない (HV-C-K シリーズ)	<p>HV-C-K シリーズにて発生する場合があります。</p> <p>プリンタ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード: “ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p>
11-3-9	その他	<p>1. 計量器とプリンタの接続ケーブルの間違い</p> <p>RS-232C ケーブルで接続する場合、ストレートタイプが適用になります。DIN ケーブル (丸型コネクタ) で接続する場合、RS-232C 接続用と、カレントループ接続用がありますので注意してください。</p> <p><参照> 本書「2. 製品構成 (各部の名称)、梱包内容」、「12. 仕様」の「12-2. 別売品」</p> <p>2. 計量器の出力フォーマットが合っていない</p> <p>以下の設定で印字できるか、試してください。正しく印字できれば計量器とプリンタの通信設定は合っています。</p> <p>1)計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力フォーマット: “A&D 標準フォーマット” <p>2)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード: “ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP] <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>3. 計量器とプリンタの通信設定が合っていない</p> <p>計量器とプリンタの通信設定(ボーレート、データビット長、パリティビット)を確認してください。計量器の通信設定は、計量器の取扱説明書を参照してください。</p> <p>ほとんどの計量器の出荷時設定は、プリンタの出荷時設定と同じです。計量器とプリンタを初期化することで印字可能になる場合があります。</p> <p><参照> 本書「8. 内部設定」の「8-3. 内部設定の初期化」</p> <p>1)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリアルインタフェース[1=SERIAL]の設定を確認してください。 <p><参照> 本書「8. 内部設定」</p>
11-3-10	計量値を延々と連続印字する	<p>計量器のデータ出力モードが、“ストリームモード” (計量値を連続で出力) になっています。</p> <p>1. 計量器のキー操作で計量値を印字したい場合</p> <p>1)計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力モード:ストリームモード以外を選択してください。 <p>2. プリンタのキー操作で計量値を印字したい場合</p> <p>1)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード: “マニュアル印字モード” [3=MODE PRN MODE / MANUAL]にしてください。 <p><参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p>

11-4. お困りの時は

No.	現象、ご要望		対応方法
11-4-1	印字した結果が見えない		<p>1.  キーを押し、印字が見えるまで紙送りを行ってください。</p> <p>2. 計量値を印字後に、自動で紙送りを行うことも可能です。 プリンタの設定：“フィード” [3=MODE BACK FD / YES] にて紙送り量を選択してください。 <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧（設定項目“BACK FD”）」</p>
11-4-2	計量値の前の No.について	印字したい 印字したくない	<p>計量値の前の No.印字は、印字しない/する を選択可能です。</p> <p>1) プリンタの設定 ・計量ナンバ印字：“印字しない/する” [3=MODE NO. PRN NOT PRN / PRINT] <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧（設定項目“NO. PRN”）」</p> <p>2) 計量器の設定 ・出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット”</p>
11-4-3		リセットしたい	<p> キーを長押し（約 2 秒間）した後、 キーを押すことによ</p>
11-4-4		統計演算に使用するデータを一括削除したい	<p>り統計演算データを削除可能です。 <参照> 本書「6. 統計演算機能」の「6-1. 統計演算の印字例と印字内容」</p> <p>※統計演算データの削除を行うと、No. もリセットされます。 （次回 “No. 1” から印字）</p>
11-4-5	統計演算について	統計演算を行いたい	<p>1) 計量器の設定 ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット” ※計量器が、計量値を出力する際に、計量値以外の情報(日付・時刻や ID ナンバ等)を付加しないでください。</p> <p>2) プリンタの設定 ・印字モード：“外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT. KEY] <参照> 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」</p> <p>※統計演算に使用するデータは、電源を切っても記憶されています。リセットする場合は、統計演算データを削除してください。 <参照> 本書「6. 統計演算機能」の「6-1. 統計演算の印字例と印字内容」</p>

No.	現象、ご要望		対応方法
11-4-6	GLP/GMP に対応した保守記録を印字したい		<p>1)計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“GLP 出力を行う”設定にしてください。 <p>2)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード：“ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP] ＜参照＞ 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」 <p>※GLP/GMP に対応した保守記録の印字は、プリンタの印字モードが“ダンプ印字モード” [3=MODE PRN MODE / DUMP]で行います。</p> <p>※統計演算を行う場合、プリンタの印字モードは“外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY]で使用しますので、GLP/GMP に対応した保守記録も印字する場合は、一時的に“ダンプ印字モード”に変更する必要があります。</p> <p>※印字モードを切り替えると統計演算に使用するデータは削除されますので注意してください(印字モードの切替前に、統計演算の結果の印字を行っておくなどの対応を行ってください)。</p> <p>※“外部印字モード”と“ダンプ印字モード”の切り替えは、  キーの長押しにより可能です。</p> <p>＜参照＞ 本書「5. キーの基本操作（基本動作）」の「 キーの項目」</p> <p>3)保守記録の印字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリブレーション(感度調整)など、計量器の操作により、保守記録のデータをプリンタに出力すると、プリンタは送られたデータを印字します。 ※必要に応じ、プリンタの印字モードを“外部キー印字モード”に戻します。
11-4-7		日付・時刻を印字したい	<p> キーを押すと時刻を、 キーを押すと日付を印字します。</p> <p>※日付・時刻の印字機能は、プリンタに内蔵されている時計を利用します。</p> <p>※プリンタの『パスワードロック機能』により、日付・時刻の設定を管理者のみに制限することも可能です。</p> <p>＜参照＞ 本書「9. パスワードロック機能」</p>
11-4-8	日付・時刻について	計量値を印字する際に、日付・時刻を自動で印字したい	<p>可能です。</p> <p>1)計量器の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ出力フォーマット：“A&D 標準フォーマット” <p>2)プリンタの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字モード：“外部キー印字モード” [3=MODE PRN MODE / EXT.KEY] ＜参照＞ 本書「7. 基本設定」の「7-3. 印字モード設定」 ・印字データ：“日付+計量値” [3=MODE PRN FOR. / TIME/WE] ＜参照＞ 本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧（設定項目“PRN FOR.”）」 <p>※日付・時刻の印字機能は、プリンタに内蔵されている時計を利用します。</p> <p>※プリンタの『パスワードロック機能』により、日付・時刻の設定を管理者のみに制限することも可能です。</p> <p>＜参照＞ 本書「9. パスワードロック機能」</p>

No.	現象、ご要望		対応方法
11-4-9	日付・時刻 について	日付・時刻の 設定を変更 したい	 キーを長押しすると時刻の設定モードに、  キーを長押し すると、日付の設定モードに入ります。 それぞれ設定モードにて、テンキーで日付・時刻を設定し、  表示で  キーを押すと、設定した日付・時刻を記 憶します。 ※プリンタの『パスワードロック機能』により、日付・時刻の設定を管 理者のみに制限することも可能です。 <参照> 本書「9. パスワードロック機能」
11-4-10		統計演算結 果に、日付・ 時刻を印字 したくない	可能です。プリンタの設定を以下にしてください。 ・演算印字: “演算印字に日付時刻なし” [3=MODE TOTAL MD / T/D NO] <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧 (設定項目 “TOTAL MD”)」
11-4-11	計量値の 印字方法	測定物を載 せたら、キー を押さずに 自動で印字 したい	可能です。 <参照> 本表「11-3. 故障かな? と思ったら」の「11-3-5 “2.計 量値の変化により自動で計量値を印字したい場合”」
11-4-12		プリンタの キーで印字 したい	可能です。 <参照> 本表「11-3. 故障かな? と思ったら」の「11-3-3 “2.プリ ンタのキー操作で計量値を印字したい場合”」
11-4-13		非安定(安定 マークが点 灯していな い状態)の計 量値も印字 したい	可能です。プリンタの設定を以下にしてください。 ・非安定データ: “印字する” [3=MODE US PRN / PRINT] <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧 (設定項目 “US PRN”)」
11-4-14	ID コード について	印字したく ない	可能です。プリンタの設定を以下にしてください。 1)プリンタの設定 ・ID 印字: “印字しない” [3=MODE CODE PRN / NOT PRN] <参照> 本書「8. 内部設定」の「8-2. 項目一覧 (設定項目 “CODE PRN”)」
11-4-15		使い方につ いて	計量結果に関連する情報(製品名、ロット番号、測定者など)を予め プリンタに記憶させておき、必要な時に印字できます。 ※  キーを押すと、ID コードを印字します。

No.	現象、ご要望	対応方法
11-4-16	ソフトウェアバージョンの確認方法	<p>以下の方法で確認できます。</p> <p>1)プリンタ本体右側の電源スイッチで、プリンタの電源をオフにします。</p> <p>2)再度電源を入れると、ソフトウェアバージョンが、プリンタ表示部に一時的に表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;"> V1.05 24/06/17 </div> (ソフトウェアバージョン表示) <p>上記の場合、ソフトウェアバージョンは、“V1.05(24/06/17)”となります。</p>

11-5. 修理依頼

本機の動作確認後の不具合や、また修理を要するエラーメッセージが発生した場合、ご購入先へ修理依頼またはお客様相談センターまでご相談ください。

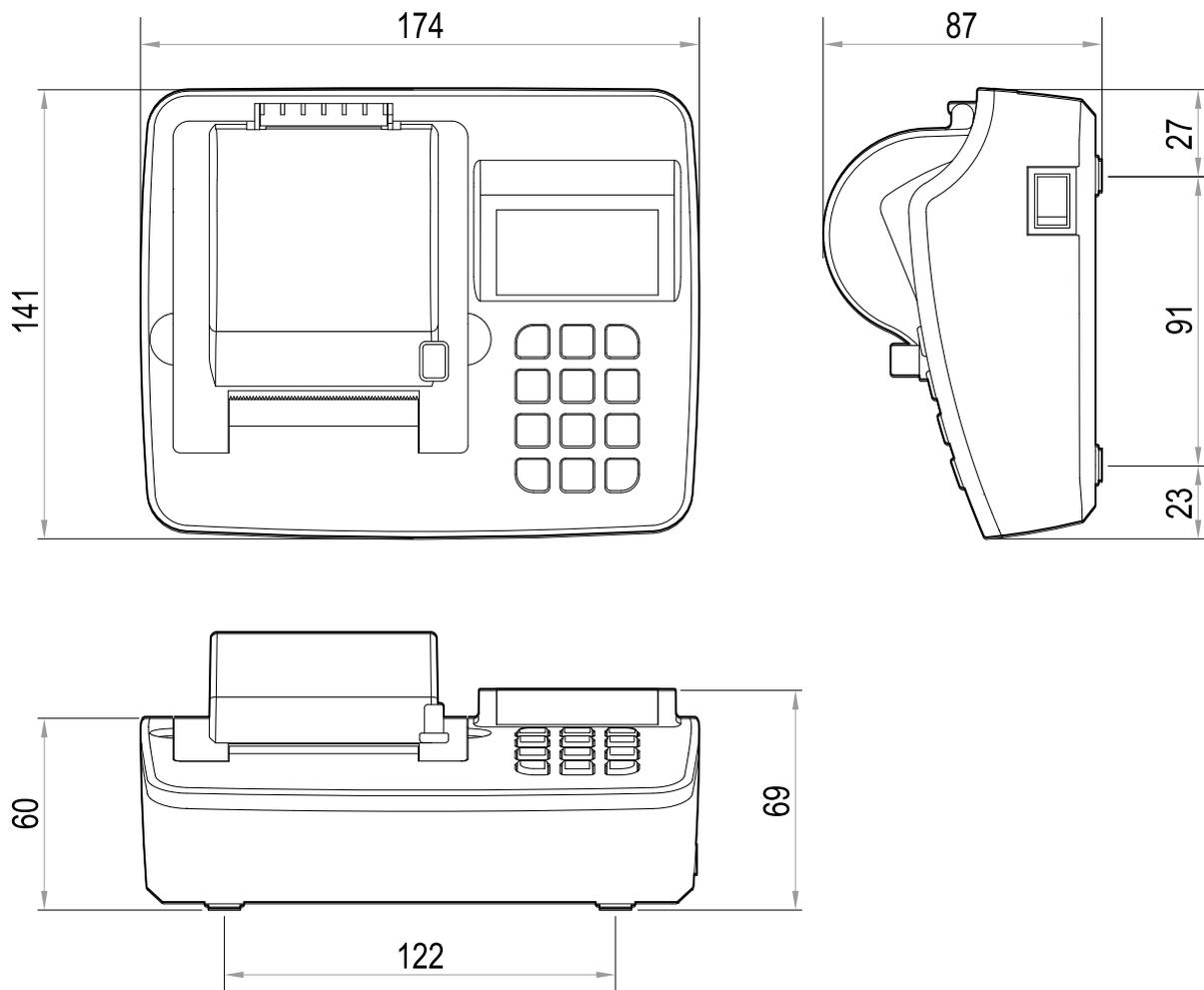
なお、本機は精密機器ですので、輸送時の取り扱いにはご注意願います。

ご購入時に本機が収納してあった梱包材、梱包箱を使用してください。

12. 仕様

印字方式	サーマル式
文字仕様	13 ドット×28 ドット 1.5 (W) ×2.6 (H) mm
印字文字数	24 文字/行
使用温度範囲	0 °C～40 °C
使用湿度範囲	20 %～85 %RH (結露しないこと)
保存温度範囲	-10 °C～50 °C
保存湿度範囲	10 %～90 %RH (結露しないこと)
データ入力部	RS-232C、カレントループ
電源	AC アダプタ : AX-TB305 入力 : AC100 V～240 V (+10% , -15 %) 50/60 Hz 消費電力 : 約 70 VA (AC アダプタを含む)
外形寸法	174 (W) ×141 (D) ×87 (H) mm
本体質量	約 500 g
付属品	プリンタ用感熱紙 (1 巻)、AC アダプタ、AC アダプタ識別シール、 簡易取扱説明書、RS-232C ケーブル、電源ケーブル

12-1. 外形寸法図



単位 : mm

12-2. 別売品

プリンタ用感熱紙 (5 巻入り)

AX-PP147-S

- 幅 57.5 mm×長さ約 30 m の交換用感熱紙です。

プリンタ用感熱無塵紙 (10 巻入り)

AX-PP183-S

- クリーンルームで使用可能な感熱無塵紙です。
幅 57 mm×長さ約 25 m

RS-232C ケーブル (D-sub9 ピン - 9 ピン、1 m)

AX-KO2741-100

RS-232C ケーブル (D-sub9 ピン - 9 ピン、2 m)

AX-KO2466-200

RS-232C ケーブル (D-sub25 ピン - 9 ピン、0.9 m)

AX-KO2116-090

RS-232C ケーブル (D-sub25 ピン - 9 ピン、2 m)

AX-KO1710-200

RS-232C ケーブル (DIN - D-sub9 ピン、2 m)

AX-KO1786-200

カレントループケーブル (DIN - D-sub9 ピン、1 m)

AX-KO5291-100

フットスイッチ

AX-SW138

- 外部入力コネクタに接続することで、内部設定「機能設定 (3=MODE)」の「外部入力 1 (EXT IN1)」、「外部入力 2 (EXT IN2)」で割り当てた機能を実行できます。

【白紙】

使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

お客様相談センター

電話 **0120-514-019**

通話料無料

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00、月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

修理をご依頼される方へ

詳しくはこちらをご確認ください。

https://link.aandd.jp/Support_Repair_Jp



2023年04月01日現在のリンク先 URL：

https://www.aandd.co.jp/support/repair_info/pickup.html